

令和6年度当初予算

令和5年度2月補正予算

主要事項の概要

農林水産部

農林水産部 令和6年度当初予算総括表

1 一般会計

単位:千円

款名	項名	令和6年度 当初予算額 A	令和5年度 当初予算額 B	増減額 A-B	率 A/B	令和6年度の財源内訳				令和5年度 国補正等関連 (12月・2月補正) C	率 (A+C)/B
						国支出金	地方債	その他	一般財源		
農林水産業費	農林水産業企画費	9,838,258	9,561,007	277,251	102.9%	2,870,681	243,500	2,055,156	4,668,921	646,550	109.7%
	農業費	11,729,257	11,723,967	5,290	100.0%	5,014,006	604,900	129,817	5,980,534	3,875,227	133.1%
	畜産業費	1,903,990	1,840,380	63,610	103.5%	628,115	187,200	25,612	1,063,063	0	103.5%
	農地費	14,257,176	14,137,487	119,689	100.8%	4,853,477	6,288,300	1,762,537	1,352,862	4,864,669	135.3%
	林業費	13,655,869	13,639,042	16,827	100.1%	3,637,541	4,241,700	1,904,974	3,871,654	2,204,383	116.3%
	水産業費	6,652,554	6,600,358	52,196	100.8%	2,733,149	1,897,100	100,425	1,921,880	622,500	110.2%
災害復旧費	農林水産施設災害復旧費	6,316,394	6,042,525	273,869	104.5%	5,858,062	261,800	137,146	59,386	0	104.5%
計		64,353,498	63,544,766	808,732	101.3%	25,595,031	13,724,500	6,115,667	18,918,300	12,213,329	120.5%

2 特別会計

単位:千円

会計名	令和6年度 当初予算額 A	令和5年度 当初予算額 B	増減額 A-B	率 A/B	令和6年度の財源内訳				備考
					国支出金	地方債	その他	一般財源	
就農支援資金貸付事業特別会計	29,041	29,425	△ 384	98.7%	0	0	29,041	0	
県営林造成事業特別会計	314,595	324,336	△ 9,741	97.0%	3,000	0	311,595	0	
林業改善資金助成事業特別会計	89,148	120,148	△ 31,000	74.2%	0	0	89,148	0	
沿岸漁業改善資金助成事業特別会計	61,045	92,370	△ 31,325	66.1%	0	0	61,045	0	
計	493,829	566,279	△ 72,450	87.2%	3,000	0	490,829	0	

農林水産部予算の内訳

1 農林水産部予算

単位:千円

区分	令和6年度 当初予算額 A <small>(上段()書の金額は R6当初+R5国補正等関連)</small>	令和5年度 当初予算額 B <small>(上段()書の金額は R5当初+R4国補正等関連)</small>	率 A/B
人件費	9,245,432	9,179,865	100.7%
公共事業費	(29,947,868) 22,996,867	(29,591,187) 23,074,755	(101.2%) 99.7%
補助公共事業	(25,554,290) 18,603,289	(25,110,051) 18,593,619	(101.8%) 100.1%
県単公共事業	4,393,578	4,481,136	98.0%
災害復旧費	6,316,394	6,042,525	104.5%
直轄負担金	(1,404,444) 1,385,776	(1,244,412) 1,237,745	(112.9%) 112.0%
非公共事業費	(29,652,689) 24,409,029	(30,175,624) 24,009,876	(98.3%) 101.7%
計	(76,566,827) 64,353,498	(76,233,613) 63,544,766	(100.4%) 101.3%

2 農林水産部公共事業

単位:千円

事業区分	令和6年度 当初予算額 A <small>(上段()書の金額は R6当初+R5国補正等関連)</small>	令和5年度 当初予算額 B <small>(上段()書の金額は R5当初+R4国補正等関連)</small>	率 A/B
補助公共事業	(25,554,290) 18,603,289	(25,110,051) 18,593,619	(101.8%) 100.1%
農地関係 (農業農村整備事業)	(13,603,490) 8,757,489	(13,318,290) 8,745,358	(102.1%) 100.1%
林業関係 (造林・林道・治山事業)	(7,363,282) 5,880,782	(7,266,350) 5,883,250	(101.3%) 100.0%
水産関係 (漁場・漁港整備事業)	(4,587,518) 3,965,018	(4,525,411) 3,965,011	(101.4%) 100.0%
県単公共事業	4,393,578	4,481,136	98.0%
農地関係 (農業農村整備事業)	2,697,249	2,750,311	98.1%
林業関係 (造林・林道・治山事業)	1,379,448	1,407,485	98.0%
水産関係 (漁場・漁港整備事業)	316,881	323,340	98.0%

(公共事業担当課：農山漁村振興課、農村森林整備課、林業振興課、水産振興課)

園芸産地競争力強化対策

◎活力ある高収益型園芸産地育成事業費

1 事業目的

本県園芸農業の競争力の強化を図るため、省力機械・施設等の生産条件の整備を進め、収益性が高く活力ある園芸産地を育成する。

2 事業内容

各地域が重点的に振興する品目に必要な生産・流通施設等の整備や長寿命化対策などを引き続き実施

3 事業実施主体 営農集団、認定農業者、農協等

4 補助率 1/2又は1/3以内

5 事業実施期間 令和5～7年度

6 予算額 () は前年度予算額
当初:1,453,500千円 (1,453,500千円)

○園芸農業DX事業[2月補正:102,515千円]

デジタルデータを活用したスマート農業機械等の導入を支援

○産地生産基盤パワーアップ事業[12月補正:2,210,510千円]

産地の収益力向上に必要な低コスト耐候性ハウス等の導入を支援

《担当課：園芸振興課》

◎青果物のストックポイントを活用した新たな流通体制構築費

1 事業目的

ストックポイント（北九州市）を經由する物流のパレット化・デジタル化を進め、県産青果物の輸送力を強化する。

2 事業内容

- ・**新** レンタルパレットを導入した出荷体制の構築に向けたトライアルに必要な経費を助成
- ・生産者の出荷情報をリアルタイムで集約するシステム導入経費を助成

3 事業実施主体 農協

4 補助率 定額、1/2以内

5 事業実施期間 令和5～8年度

6 予算額 2月補正:42,112千円 《担当課：園芸振興課》

◎園芸品目生産拡大・ブランド力強化費

1 事業目的

全国有数の生産額を誇る本県園芸品目の生産力・ブランド力を更に高め、生産者の所得向上を図る。



▲かき「秋王」

2 事業内容

(1) **新** 販売10周年を迎える「秋王」の競争力強化 [当初:26,636千円]

- ・タレントによる商品PRや高級レストランでの「秋王」フェア等を開催するとともに、収量向上を図る技術の導入を支援

(2) **新** 県産キウイ花粉の供給対策 [当初:16,918千円]

- ア 安定したキウイフルーツの生産に向け、花粉専用産地を育成するとともに、県産花粉のかいよう病検査を農林業総合試験場等で実施
- イ 県産花粉の着果率や果実品質への影響を検証するとともに、花粉使用量を削減する技術を確立

(3) **新** 県産花きの消費定着 [当初:82,964千円]

- ・JR主要駅等において、おもてなし飾花を実施するとともに、宿泊施設での飾花経費を助成

3 事業実施主体 (1)(2) 県 (3) 県、宿泊施設等

4 補助率 (3) 10/10等

5 事業実施期間 令和6～8年度

6 予算額 当初:126,518千円 (新規) 《担当課：園芸振興課》

◎**新**園芸農業研究機関整備費

1 事業目的

園芸農業の先端技術を研究開発する新たな機関の整備を進める。

2 事業内容

新たな研究開発機関の整備に必要な用地の取得や基本設計等を実施

3 事業実施期間 令和6～7年度

4 予算額 当初:400,607千円 (新規) 《担当課：農林水産政策課》

水田農業経営力強化対策

1 事業目的

本県水田農業の経営力を更に高めるため、500万県民をターゲットとした米・麦・大豆のブランド化の推進や、生産コストの低減、担い手への農地集積等を支援し、所得を確保する。

2 事業内容

(1) 県産米・麦・大豆の生産拡大対策

① 大豆新品種「ふくよかまる」の生産拡大

[当初:46,754千円]

- ア ①販売単価日本一の大豆新品種「ふくよかまる」の増産に必要な高品質種子の安定供給に向け、AIを活用した種子選別機械の導入経費を助成
- イ 新品種を導入する産地に対し、安定生産技術の導入を支援
- ウ ①ロゴマークを活用した大型商業施設での販促フェアや大規模イベントへの出品支援を実施



▲大豆新品種「ふくよかまる」

② ①県産米粉の新たな需要の創出

[2月補正:79,154千円]

- ア 県産米粉を原料とする新商品の開発経費や製造に必要な機械・施設の導入経費を助成
- イ 米粉の需要の高まりに対応した米粉用米の作付けを支援

③ ①パン用小麦品種の早期普及

[当初:27,061千円]

- ・パン用小麦の新品種導入に向けた品質評価、製粉企業等へのPRを実施

(2) 担い手の生産性向上支援 [当初:163,776千円、2月補正:351,047千円]

- ア 農作業の集約化、生産コストの低減及び麦・大豆の面積拡大に取り組む担い手に対し、高性能機械導入・改修経費を助成
- イ 経営規模拡大等に取り組む担い手に対し、スマート農業機械の導入経費を助成
- ウ 米麦の種子生産の担い手に対し、種子専用乾燥機の導入経費を助成

(3) 担い手への農地集積・集約化支援

[当初:638,028千円]

- ア 農地中間管理機構が農地集積に取り組むための事業費等を助成
- イ 農地中間管理機構が担い手への農地集積を行う上で必要となる農地の再生費を助成
- ウ 農地の区画拡大等に係る経費を助成



▲区画拡大した農地

3 事業実施主体

- (1) ①ア イ JA ①ウ ③ 県 ②ア 食品事業者等 ②イ 新規米粉用米生産者
- (2) ア イ 認定農業者、集落営農組織等 ウ 種子生産者
- (3) ア イ 農地中間管理機構 ウ 認定農業者、集落営農組織等

4 補助率

- (1) ①ア ②ア 3/4以内 ①イ 1/2以内 ②イ 定額
- (2) ア イ 1/3以内、市町村1/6以上 ウ 1/2以内 (3) 定額

5 事業実施期間

- (1) ①ア 令和6~7年度 ①イ 令和4~6年度 ①ウ ③ 令和6~8年度
②ア 令和5~6年度 ②イ 令和5~8年度
- (2) ア 令和4~7年度 イ 令和5~6年度 ウ 令和5~7年度
- (3) ア 平成26年度~ イ 令和4年度~ ウ 令和3~6年度

6 予算額 ()は前年度予算額

当初:875,619千円(1,022,125千円)、2月補正:430,201千円

《担当課:水田農業振興課、農林水産政策課》

畜産競争力強化対策

1 事業目的

飼料価格の高止まりや子牛価格の下落など、畜産経営を取り巻く情勢が厳しい中、本県畜産業の競争力強化に向け、県産ブランド畜産物の生産基盤の強化に向けた取組等を推進する。

2 事業内容

(1) 畜産経営の基盤強化

[当初:16,476千円]

① 生産拡大・収益性向上対策

・生産規模の拡大に必要な施設・機械の整備経費を助成

② ゲノミック評価の導入支援

・乳用牛の能力を早期に評価するためのDNA解析経費を助成

③ 乳用牛の改良支援

・DNA解析による遺伝的に優れた乳用牛の受精卵を使用し、高能力な乳用牛を生産するための採卵・移植等に係る経費を助成

(2) 「博多和牛」の生産強化

[当初:54,011千円]

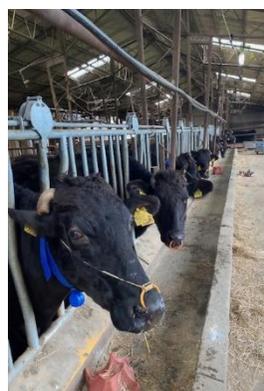
① 肥育農家の規模拡大支援

ア 出荷頭数の拡大に必要な肥育もと牛の導入経費を助成

イ 遊休畜舎を活用した新規参入や規模拡大に必要な施設・機械の整備経費を助成

② ⑧繁殖農家の規模拡大支援

・「博多和牛」の出荷増頭に向け、繁殖農家の規模拡大に必要な畜舎や飼養管理を省力化する哺乳ロボットの整備経費を助成



▲繁殖牛の畜舎

(3) ⑧県産ブランド鶏の生産強化対策

[当初:22,655千円]

・需要が高まる「はかた地どり」「はかた一番どり」の供給拡大に向け、食鳥処理施設の自動化に必要な最新鋭解体設備の導入経費を助成



▲はかた地どり



▲はかた一番どり

3 事業実施主体

- (1) 認定農業者、営農集団、農協、民間事業者等
- (2) 認定農業者、民間事業者
- (3) 民間事業者

4 補助率

- (1) ① 1/2 又は 1/3 以内 ② 定額 ③ 定額又は 1/2 以内
- (2) ①ア 定額 ①イ ② 1/2 以内
- (3) 1/2 以内

5 事業実施期間

- (1) ① 令和 2~7 年度 ② 平成 29~令和 6 年度 ③ 令和 5~7 年度
- (2) ①ア 平成 29~令和 6 年度 ①イ 令和 5~7 年度 ② 令和 6~9 年度
- (3) 令和 6~7 年度

6 予算額 () は前年度予算額
当初:93,142千円 (39,482千円)

《担当課：畜産課》

農林水産業の次代を担う「人財」の育成

1 事業目的

地域に密着した研修機関の機能強化や北海道と連携した園芸産地への外国人材の派遣を支援し、即戦力となる人材の確保・育成に取り組むとともに、女性農林業者の活躍促進を図る。

2 事業内容

(1) 新規就業者の支援 [当初:1,493,026千円]

① 農業関係

- ・就農前後の所得を確保するために必要な資金を交付
- ・就農開始に必要な機械・施設等の導入経費を助成

② 林業関係

- ・林業新規就業者への技術指導に要する経費を助成（国直採）

③ 漁業関係

- ・漁船漁業の独立前の長期研修や独立直後に必要な資金を支援（国直採）
- ・法人経営の基礎研修や事例研修で、ノリ養殖経営体の法人化を支援

(2) ⑨ トレーニングファームを活用した担い手育成 [当初:30,220千円]

① 早期経営確立のための実践コースの創設

- ・実践的な栽培技術と経営管理能力を身につけた次世代の担い手を育成するため、トレーニングファームが新設する実践コースに必要なハウスの整備経費を助成



▲トレーニングファームでの研修

② 匠を活用した先進的な指導の実施

- ・スマートグラスを活用し、熟練生産者（匠）による高度な栽培技術を学べる研修を実施
- ・農業大学のDXハウスを活用した先進的な農業経営研修を実施

(3) ⑨ 北海道と連携した外国人材派遣の支援 [当初:11,301千円]

① 外国人材の派遣体制構築支援

- ・本県で、外国人材の派遣体制を構築するため、北海道のJAとの調整や県内受入地域での住宅確保等を支援

② 農業者向け外国人材雇用研修会の開催

- ・労務管理など外国人材の雇用に必要な知識を身につける研修会を開催



▲農作業を行う外国人の皆さん

(4) 女性農林業者の活躍促進 [当初:45,000千円]

- ・⑨ 地域の特産品である漬物の伝統の味を承継していくため、女性農林業者グループが取り組む漬物の製造に必要な施設整備を支援

3 事業実施主体

(1) ① 県、市町村、農協等 ② 森林組合等 ③ 漁連、漁協

(2) ① JA ② 県 (3) ① JA全農ふくれん、JA ② 県

(4) 女性農林業者グループ

4 補助率

(1) ① 定額、3/4以内、1/2以内 ② 定額 ③ 定額

(2) ① 3/4以内 (3) ① 1/2以内 (4) 1/2以内

5 事業実施期間

平成24～令和8年度

6 予算額 () は前年度予算額

当初:1,579,547千円(1,410,291千円)

《担当課:経営技術支援課、後継人材育成室、林業振興課、水産振興課》

ワンヘルスの推進

1 事業目的

農林水産業におけるワンヘルスを推進するため、ワンヘルスの理念に沿って生産された認証農林水産物の普及を進めるとともに、ワンヘルスの森や動物保健衛生所の整備、食育・地産地消に取り組む。

2 事業内容

(1) ワンヘルス認証農林水産物の普及促進

[当初: 75,461千円]

① 認証制度の取組

- ア 認証経営体数を拡大するため、生産者向けの説明会を実施
- イ インターネットを通じた認証申請や認証農林水産物の検索が可能な専用サイトを運営

② 認証農林水産物の販売拡大

- ア 県内民放テレビでのCM放映やウェブ広告等により、消費者へ幅広くPR
- イ 県内大手量販店で販促フェアを開催するとともに、常設販売コーナーを設置
- ウ 地産地消応援の店と連携し、認証農林水産物をメニューに使用したフェアを開催



▲ワンヘルス認証のテレビCM

(2) ワンヘルスの森の取組

[当初: 56,919千円]

- ア 「ワンヘルスの森 四王寺」の施設・設備の更なる充実に向け、ニーズを把握する調査を実施
- イ 多くの来訪者が快適に利用できるトイレを整備
- ウ ワンヘルスの説明や森を案内できるガイドを派遣し、森林浴の体験ツアーを実施



▲森林浴体験ツアー

(3) 動物保健衛生所の整備

[当初: 128,961千円]

- ア 動物保健衛生所の建設に向け、実施設計を実施
- イ 獣医師職員のスキルアップのために獣医系大学へ派遣するとともに、検査マニュアルを作成



▲動物保健衛生所イメージ図

(4) 食育・地産地消の推進

[当初: 39,576千円]

① 「いただきます！福岡の美味しい幸せ」県民運動の展開

- ア ふくおか農林漁業応援団の登録を推進
- イ 応援ファミリーを対象とした「農林漁業体験ツアー」を実施
- ウ 市町村・団体が行う食育イベント等の開催を支援

② 新 社食を活用した地産地消の推進

- ・県産農林水産物を使用した社食メニューの開発を支援



▲博多和牛のサーロインカツ定食 (けんちょう Food Marche)

3 事業実施主体 県

4 事業実施期間

- (1) ① 令和4～6年度 (1) ② (2) 令和5～7年度
- (3) 令和3～7年度 (4) ① 平成26～令和6年度 ② 令和6～8年度

5 予算額 ()は前年度予算額

当初: 300,917千円 (259,329千円)

《担当課: 食の安全・地産地消課、林業振興課、畜産課》

県産農林水産物の販売・消費対策

1 事業目的

県産農林水産物と日本酒などの加工品を「福岡の食」として、外食事業者等への一体的な売り込みを強化するとともに、攻めの輸出拡大を展開し、県産農林水産物の販売・消費の促進を図る。

2 事業内容

(1) 「福岡の食」の販売・消費促進 [当初:114,238千円]

① 卸事業者と連携した販売強化

- ア 多くの取引先を持ち、食材の仕入の要となっている卸事業者の商談用サイトへの新規登録を推進
- イ 卸事業者と連携し、その取引先である外食事業者や百貨店へ県産食材の売り込みを展開
- ウ 商談用サイトに新規登録した卸事業者・外食事業者等と、新たな販路開拓を目指す生産者とのオンライン商談会を開催

② 「福岡の食」のブランド力向上

- ア **拡**首都圏・関西圏での県産食材の取引拡大に向け、産地視察や商談会を拡充して実施
- イ **新**本県が舞台となるテレビドラマを契機とした「福岡の食」のPR
 - ・番組関連イベントを活用し、「福岡の食」のPRを実施
 - ・首都圏、関西圏及び県内でドラマ出演者等が参加するトークイベントを開催

③ 福岡・大分DCと連動した「福岡の食」PR

- ア アンテナレストラン等で「福岡の食」の魅力を発信し、本県への誘客を促進
- イ **拡**「ふくおか地産地消応援の店」での割引クーポンを拡充して発行

※DC (デスティネーションキャンペーン)

- ・JR6社と地元自治体等が共同で実施する国内最大級の観光誘客キャンペーン



▲「福岡の食」を使用した料理
(麴町なだ万 福岡別邸)

(2) **新**バンコク都友好交流を通じたタイへの輸出強化 [当初:21,827千円]

① 「福岡フェア」にあわせた販売促進活動

- ア バンコクで開催する福岡フェアで、県産農林水産物のプロモーションを行うとともに、PR試食会を実施
- イ 現地の量販店や飲食店において、秋王やみかん、博多和牛等の販促キャンペーンを実施

② みかんの輸出促進

- ア 検疫条件が緩和されたみかんの輸出拡大を図るため、必要な検査経費を支援
- イ 現地バイヤーによる産地視察や商談会を実施



▲県産みかん

3 事業実施主体

- (1) 県 (2) 県、福岡県産品輸出促進協議会、JA等

4 補助率

- (2)②ア 1/2以内

5 事業実施期間

- (1) ① 令和5~7年度 ② 令和6~8年度 ③ 令和6年度
(2) ①ア 令和6・8年度 ①イ ② 令和6~8年度

6 予算額 () は前年度予算額

当初:136,065千円 (75,872千円)

《担当課：福岡の食販売促進課、輸出促進課》

林業振興対策

1 事業目的

本県林業の更なる振興に向け、CLTにおける県産木材の新たな需要を獲得するとともに、主伐の推進や林業用ドローンによる作業の効率化、省力機械等の導入による生産基盤の強化を進め、県産木材の需給拡大を図る。

2 事業内容

(1) 県産木材の需要の拡大

① 新 CLT への県産木材の利用拡大

[当初:25,300 千円]

- ア 県産木材を利用したCLTの運搬方法と規格の見直しによる流通経費の低コスト化を実証
- イ ビル建築を検討する民間事業者を対象に、CLT導入のメリット等を伝えるフォーラムを開催



▲CLT(直交集成板)

② 県産木材のある暮らしの実現

[当初:20,072 千円]

- ア 民間事業者を活用して木製玩具を製作し、大規模商業施設や住宅展示場で実際にふれていただき、デジタルカタログを通じて販売を促進
- イ キッズスペースを有する大規模商業施設や住宅展示場での木製玩具導入に要する経費を支援
- ウ 家具メーカーが百貨店等で行う、デザイン性の高いライフスタイルに合わせた家具の展示販売に要する経費を支援

(2) 県産木材の供給力の強化

① 主伐・再造林の推進

[当初:81,035 千円]

- ア 森林組合等が行う主伐及び少花粉苗木の植栽に要する経費を助成
- イ 新 効率的に植栽作業を行う人材を育成するため、林業用ドローンの高度な操作技術を習得できる実践的な研修を実施

② 県産木材の生産基盤の強化

[2月補正:145,204 千円]

- ・省エネや省力化につながる高性能林業機械や木材加工施設の整備に要する経費を助成

③ 林業従事者の労働環境の改善

[当初:68,055 千円]

- ア 安全な伐倒作業を習得できる実践的な研修を実施
- イ 林業従事者の労働環境の改善を図るため、熱中症を予防する空調服の購入費等を助成

3 事業実施主体

- (1) ① 県 ② ア 県 イ ウ 民間事業者
- (2) ① ア 協議会、林業経営者等 イ 県
- ② 森林組合、民間事業者
- ③ ア 県 イ 福岡県水源の森基金

4 補助率

- (1) ② イ ウ 1/2 以内
- (2) ① ア 主伐: 定額 (500 円/m³)
植栽: 定額 (100 千円/ha)、15%以内
- ② 1/2 以内 ③ イ 定額

5 事業実施期間

- (1) ① 令和 6~8 年度 ② 令和 5~7 年度
- (2) ① ア 平成 26~令和 6 年度 イ 令和 6~8 年度
- ② 令和 5~6 年度 ③ 令和 3 年度~

6 予算額 () は前年度予算額

当初:194,462 千円 (161,830 千円)、2月補正:145,204 千円

《担当課:林業振興課》

水産振興対策

1 事業目的

民間事業者と連携した「福岡有明のり」の販売促進や県産水産物の魅力発信に取り組むとともに、ブルーカーボンの推進や資源づくりにより、本県水産業の更なる振興を図る。

2 事業内容

(1) ①「福岡有明のり」の販売・生産力の強化

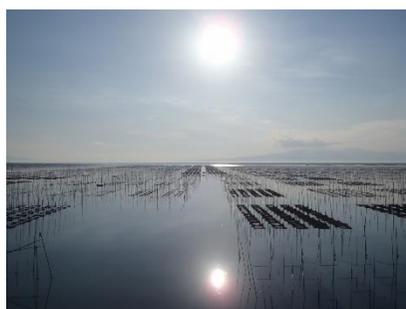
[当初:10,612千円]

① 民間事業者と連携した商品の販売拡大

- ・「福岡有明のり」のロゴマークの見直しにあわせ、有明海漁連と民間事業者が連携した商品開発や共同販売会、PR広告等の販売促進の取組を支援

② 養殖の大規模化に対応した生産体制の検討

- ・海上作業の効率化を進めるため、ノリ網の配置の見直しを検討



▲有明海のノリ養殖風景

(2) 県産水産物の魅力発信

[当初:60,668千円]

① ①水産資源の有効利用につながる商品づくりの推進

- ア 高品質な冷凍商品の供給拡大に必要な機器整備や商品開発を支援
- イ 首都圏の外食事業者等とのマッチングや飲食店でのフェアを実施

② 福岡・大分DCを活用した販売促進

- ア DCにあわせ、「ふくおかの地魚応援の店」の魅力となる地魚メニューを充実させ、フェアによりPR
- イ 「ふくおかの地魚応援の店」への誘客促進のため、割引クーポンを発行



▲県産水産物を使用したメニュー

(3) ①藻場の再生によるブルーカーボンの推進

[当初:14,711千円]

① 漁業者等の活動支援

- ア 漁協、農業者、大学、事業者、県、市町で構成する産学官による協議会を設置
- イ 藻場の保全活動で除去したウニを、地元産野菜等を餌として養殖する取組を支援



▲ウニの除去

② クレジット化に向けた技術開発

- ・九州大学と連携し、ドローン撮影画像を解析して藻場のCO₂固定量を算出する技術を開発

(4) 水産資源づくりの推進

[当初:32,270千円]

① 水産資源の管理を推進

- ・休漁日の設定等の漁業者が行う資源管理の取組を支援

② ①内水面における水産資源の増殖

- ・筑後川や矢部川等におけるアユ等の種苗放流を拡充して実施

3 事業実施主体

- (1) ① 有明海漁連 ② 県 (2) ① ア 漁協等 イ 県 ② 県
- (3) ① 県、漁協等 ② 県 (4) ① 県、漁業団体 ② 県

4 補助率

- (1) ① (2) ① ア (3) ① イ 1/2以内

5 事業実施期間

- (1) 令和6~8年度 (2) ① 令和6~8年度 ② 令和6年度
- (3) ① 令和6~8年度 ② 令和6~7年度
- (4) ① ② 平成27~令和8年度

6 予算額 ()は前年度予算額

当初:118,261千円(84,382千円)

《担当課:漁業管理課、水産振興課》

中山間地域の活力向上

1 事業目的

薬用作物の国産需要の高まりを受け、生薬用赤シソの生産拡大および新たな品目の開拓を推進し、薬用作物の産地化による中山間地域の活力向上を図る。

2 事業内容

(1) ① 生薬用赤シソの生産拡大支援 [当初:23,885千円]

① 産地形成の推進

ア 生薬用赤シソの産地化に向け、栽培技術の研修会や現地での栽培指導を実施

イ 新規作付に必要な農地の土壌改良や資材整備に要する初期費用の一部を助成

② 乾燥拠点の整備

・生薬用赤シソの生産拡大に対応するため、品質確保に必要な乾燥拠点の整備経費を助成



▲赤シソの収穫風景

(2) ① 新たな薬用作物の開拓 [当初:8,543千円]

・中山間地域に適した新たな品目の開拓に向け、大学と連携し、薬用作物の自生状況や周辺の植生・土壌等の環境データを収集する自生地調査等を実施

3 事業実施主体

(1) ① ア 県 イ 新規作付農業者 ② 生産者団体、生産者 (2) 県

4 補助率

(1) ① イ 定額 ② 1/2以内

5 事業実施期間

令和6～8年度

6 予算額

当初:32,428千円(新規)

《担当課:農山漁村振興課》

総合的な鳥獣被害対策

1 事業目的

集落や農地への有害鳥獣の侵入防止対策、捕獲対策及び獣肉有効活用対策を総合的に実施する。

2 事業内容

(1) 侵入防止対策 [当初:478,304千円]

ア 被害が発生している農地等を対象に侵入防止柵の整備経費を助成

イ 追い払い等の地域ぐるみの被害防止活動を支援

ウ 人と野生動物との棲み分けを図るため、不要木を伐採した緩衝地帯の整備等を支援

(2) 捕獲対策 [当初:455,748千円]

ア ① 野生鳥獣の出没地を分析・予測するため、行動域を見える化するシステムを開発し、システムと連携可能なICT機能付きわなの導入を支援

イ 捕獲従事者を養成するため、狩猟免許取得者を対象とした集合研修に加え、マンツーマン研修を実施

ウ 捕獲機材の導入、捕獲活動に係る経費を助成



▲ICT機能付きわな

(3) 獣肉有効活用対策 [当初:28,351千円]

ア 捕獲現場から獣肉処理加工施設までの運搬について、民間事業者が担う供給体制構築に取り組む地域を拡大

イ 獣肉処理加工施設が連携し、残渣をペットフード原料として加工、販売する取組を支援

ウ 「ふくおかジビエの店」認定店と連携した消費拡大イベントを実施



▲イノシシ・シカを使用したジビエ料理メニュー例

3 予算額 ()は前年度予算額

当初:962,403千円(914,451千円)

《担当課:経営技術支援課、林業振興課》